同好会紹介

パークゴルフ同好会

パークゴルフは1983年(32年前)北海道・中川郡幕別町の公園で発祥した比較的新しいスポーツです。 ク ラブ1本とボール1個それにボールを置くティーがあれば、誰でもプレーを楽しめます。一般にコースは18 ホールでパー3,4,5があります。パークゴルフ同好会は平成16年9月に発足、今年満12年を迎えました。 月に1度、年間12回大会形式で競技を行っています。

会員は現在36名(女性6名)で年々増加してい ます。約半数は地域の方々で、親睦も年々深 まっています。[いつまでも健康で楽しい同好会] を目指しています。

毎月第二土曜午前中は鬼怒グリーンパーク白 沢でプレーをしています。皆さん、是非一度見学 にお越し下さい。尚、道具は無料で一式借りる事 が出来ます。但し、コース使用料が500円/半日 掛かります。

代表世話役:池谷 健 ☎028-673-6736 事務局 : 手塚 操 2028-673-1431

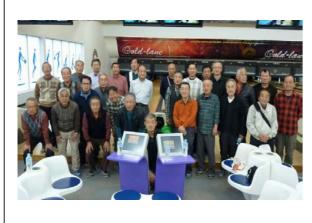


2月14日 第2回ボーリング大会

バレンタインの2月14日に宇都宮ゴールド レーンで開催しました。63歳~81歳と幅ひろい 年齢から30名の参加があり、遠藤美継さんの 始球式でゲームをスタート。

ストライクに大きなアクション、ガターにショボ ン。笑いの中にも真剣にプレーを楽しみました。 ゲーム終了後はパーティールームで軽食と表 彰式を行い無事終了となりました。

(優勝:宮内肇さん、2位:村山新一さん、3位: 谷田敏彦さん)



12月5日 相続税セミナー

2015年12月5日「コンセーレ青年会館」にて、 「パナ保険サービス」様の全面的なご協力により、 「東京海上日動あんしん生命」様を講師としてお迎 えし、相続税セミナーを開催しました。

何れは誰もが遭遇するテーマだけに関心も高く、 ご夫婦で参加された方も含めて37名が熱心な受講 となりました。



内容は、相続配分に関する解説、実際に予想さ れる諸問題に対する事前対応策や心構え等々。具 体的な事例を引用しながらのわかりやすい講義に2 時間の予定を15分オーバーし、終了致しました。

支部役員 連絡先

何なりと ご相談下さい!

山本夏樹☎028-625-1425 ⑥地区委員(電子) 福山茂信 ☎090-2203-1917 坂田 卓 ☎028-625-3246 ⑦地区委員(電子) 植月雅彦 ☎028-662-2478 ③地区委員(事務機) 赤井 勤 ☎028-625-6225 ⑧地区委員(事務機)太田耕二 ☎028-673-7034 ④地区委員(テレビ) 須永和良☎028-645-5933 ⑨地区委員(テレビ) 関澤 享 ☎028-656-1538

⑤地区委員(営業) 吉田良和☎028-663-0450

編集後記

支部だより「とちぎ」も創刊号から1年を経過し第6号の発刊を迎えました。年3回目標を超える発行 となりましたが、それくらい支部活動が年間通じて多岐にわたっている事かと思います。2年目に 入る支部だより「とちぎ」ですが、会員皆様の投稿をお待ちしています。 Y.Y.

パナソニック松愛会 栃木支部ホームページ http://www.shoai.ne.jp/tochigi/



第6号



パナソニック松愛会 栃木支部

発行責任者:山本夏樹 編集責任者:吉田良和 TEL:028-663-0450

2016年 新春懇親会を開催しました

暖冬の予想通りに暖かい日が続きましたが、開催前日から最大級の寒波来襲となった1月24日(日曜 日)に、2016年の栃木支部新春懇親会を「ニューみくら」にて開催しました。雪とインフルエンザの影響 で、出席できなかった方もおられましたが、会員128名、来賓9名の合計137名で懇親並びに楽しい時 間を過ごすことができました。 懇親会第1部は、例年の通り、支部長の挨拶に始まり、 来賓として、松愛 会本部の波江副会長、パナソニック社関越支店の渡邊支店長、アプライアンス社の吉田所長のご挨拶 を頂戴し、続いて協賛会社のパナホーム東部法人営業Gの山本リーダー、パナホーム北関東の三柴副 部長の会社紹介とご挨拶をいただきました。







第2部は、本年新しい趣向として、福祉施設等幅広く活躍されている、マジシャンの浜田とき子さんに よる健康マジックショーをお楽しみいただきました。



第3部は、飲食をともに会員同士の懇親と、毎年好評の大抽選会 で大いに盛り上がりました。テーブルの間隔が広くとれませんでし たが、各テーブルを行き来し飲み交わす場面が多くありました。



今後の行事

●5月22日(日) 10時~ 支部年次総会(第20回 記念大会) 於:コンセーレ



「今や情報化社会」と言われて久しいが、ちびまるこちゃんではないが、今は月そんなの常識 …」で、ネットなしには生活を楽しめないような状況かも知れない。美味いものを食べたい、祝儀 やお布施の相場、ショッピング、趣味の世界に至るまで、ありとあらゆる手に入れた情報で生活 が楽しめる。むしろ必要以上に手に入ってしまい、逆にどれが正しいのかと思うことさえあるし、 調べ中に次々とリンクをたどっていくと、何が知りたいのか迷子になる。とにかく字を書かなくなっ てしまい、漢字が書けない、覚えるという力すら退化してしまう。情報を選択する力、書き取り覚 える昔ながらの手習い、情報化社会であるからこそ必要なのかもしれない? (須永和良)

